

# みらい通信

## 第22号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所  
連絡先 〒028-3318  
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2  
電話 019-671-2244  
FAX 019-671-2243  
Email miraiken@shiwa-mirai.com  
URL <http://www.shiwa-mirai.com>  
発行日 平成19年10月18日

参加者募集!

### 第17回環境探検隊

# 森林とあそぼう!



晩秋の森を歩きながら、落ち葉のファッションショー・落ち葉の親探し・森林を使った五感クイズをして遊びます。遊びをとおして、自然とふれあい、自然環境に対する意識の向上を目指します。また、みんなで「ひつつみ」を作り、交流を深めます。

平成19年11月3日(土)  
午前8時30分～13時30分

場 所 紫波町山屋地区  
集合受付 紫波町山屋 山祇神社  
服装・持物 汚れてもいい服装、帽子、手袋、  
雨具、長靴、おにぎり、おわん、  
はし、エプロン  
参加費 1人200円  
定 員 先着10組の親子  
申 込 NPO法人紫波みらい研究所



落ち葉のエプロン



おいしいひつつみ

## 9月定例会の様子

平成19年9月12日(水)

学びをつむぐ、引きだし屋「道屋」主宰(紫波みらい研究所会員)の宮崎道名さんに「ファシリテーショングラフィック」を教えていただきながら近況報告を行ないました。

情報を共有することで色々なアイデアが生まれ、活発な話し合いをすることができました。



近況報告をつづった模造紙

ファシリテーショングラフィックとは  
会議でホワイトボードや模造紙に発言を記録することで参加者全員に会議の内容がわかりやすいようにするものです。

## 11月の定例会では こんなことをしたい!!

日時 11月14日(水) 18時30分～

11月の定例会は11月14日(水)18時30分から行ないます。会員として今後何ができるか、何がしたいか、みんなで話し合ってみませんか。

今年度も、さまざまな事業をたくさん行いました。来年度、みらい研究所はどんな活動を行いますか。

一般町民から紫波中央駅前の畑を無償で使ってください!という提案もあります。会員の私たちも楽しむ活動をしたい!という声も出ています。紫波町をもっと好きになるために...会員として声を聞かせてください!

# 参加しました！ 紫波町下水道フォーラム

平成19年9月9日（日）

主催 紫波町下水道課  
場所 盛岡南ショッピングセンターNACS

「美しい川と海 地球環境にやさしく」をテーマに、紫波町下水道フォーラムが開催されました。

NPO 法人地域パートナーシップ支援センター理事長の小野紀之さんが「水・みどり・ヒト～水豊かなるまち 紫波～」と題して基調講演をしました。また、町内の各団体のパネラーが、未来の子どもたちに美しい町の環境を残すため、水の循環と私たちのかかわり、下水道処理と水のリサイクル等についてパネルディスカッションを行いました。

会場外の広場には町内の小学生が描いた下水道のポスターや書道、標語 159 点が展示されました。

紫波みらい研究所では、水環境の保全に配慮して作られている「わかしお石けん」の販売をしました。



パネルディスカッションの様子



いきいき下水道作品展  
(児童の絵画など 159 点)



わかしお石けん販売の様子

# 参加しました！ コスモアースコンシャスアクト クリーンキャンペーン

平成19年9月15日（土）

主催 (株)エフエム岩手、コスモ石油(株)  
場所 佐比内地区国道396号線沿い

紫波町の良好な環境づくりに着目した(株)エフエム岩手、コスモ石油(株)が、佐比内地区国道396号沿いの清掃活動を通じて広く地域の環境問題への意識向上を図るために開催しました。

町内外の参加者が271人集まり、2コースに分かれてそれぞれ約2キロメートルの道のりを清掃しました。

清掃の後は紫波観光ぶどう園でぶどう狩りの体験とマンドリンシンガーの清心さんのミニライブが行われ、楽しいひと時を過ごしました。



マンドリンシンガー清心さんのミニライブ



ごみ拾いの様子



ぶどう食べ放題にご満悦！

調査しました！

# 井戸探訪

平成19年9月13日

紫波総合高校では、水をテーマとした課題研究を行なっています。9月13日には日詰郡山駅地区の井戸の研究をしている内城弘隆さん（どっこ舎主宰）を講師に、井戸の調査が行われました。

高校生たちはそれぞれの井戸の歴史を聞きながら、井戸の深さや水温、pH や BOD などの水質調査をしていました。また、昔、酒づくりにも使われたという水を飲み「冷たくておいしい」と歓声があがりました。

井戸の調査は今後も行われ、まとめた内容は日詰郡山駅地区で発表する予定になっています。



井戸を覗く



水質調査の様子

探検しました！

# 赤石探検隊

平成19年9月30日



紫波町赤石地区では日詰駅前開発が進み、町並みがどんどん変わっています。今、記録に残さなければと思い、赤石公民館に話をしたところ、ちょうど親子を対象とした「赤石探検隊」を北日詰地区で行なう予定だと聞きました。公民館で検討していただき、デジタルカメラを使った赤石探検隊が実現しました。

参加者（11名）は、子どもや大人それぞれの目で変わりゆく日詰駅前や自然を撮影していました。一緒に歩いてくださった地元の方から、昔は旅館だった家のことや、稲荷神社が賑わっていたころ食事処だった店などのお話を聞くことができました。デジタルカメラを使った探検隊をこのような形で実施できたのは嬉しく思います。これからも他の地区の公民館や子ども会に広げていければと考えています。

この取り組みの4日後、みんなが撮影した家とお店は解体が始まりました。

（会員 八重畑祐見子）



解体される元旅館（写真右）



子どもの目線で撮影

# きれいにしました！ 平成の森 下草刈り

平成19年9月30日（日）

参加者 16人

10月13日に行われた共生植林に先駆け、平成の森の下草刈りを行いました。

6月に行なった下草刈りに続き、紫波みらい研究所、環境マイスター紫波、森和会のメンバーが集まりました。今回は、石ヶ森里山プロジェクトに参加した国学院大学の生徒2人も駆けつけてくれました。

夏に比べて草が硬く、ツルがのびていたため作業に手間取りましたが、植林した栗の木に実がなっていて、木の成長を楽しみながら作業を進めることができました。

3時間ほどで作業は終わり、陽が当たるきれいな林になりました。



下草刈りの様子



国学院の学生（正面2人）



栗の実がなりました

平成の森共生植林の様子は次号に掲載します。

## 「なんでも屋・おせっかい」開店！

10月8日、紫波中央駅前に紫波町住民が運営する、「なんでも屋・おせっかい」が開店し、オープンセレモニーが開催されました。日詰商店街なんバザホール提供のもちがふるまわれ、たくさんの買い物客で賑わいました。

「なんでも屋・おせっかい」は遠くの店まで買い物に行けない人のために紫波中央駅前地区の住民が立ち上げたもので、日詰商店街と紫波町内の農家の協力で日常の暮らしに欠かせない食材や生活必需品を販売します。また、ご近所の交流の場としてコーヒーやお茶を飲みながら談笑できるスペースも設けられています。



大繁盛の「おせっかい」

## 情報喫茶 アラエビス

情報喫茶『アラエビス』は、紫波町を拠点にまちづくり活動をしている団体等が町の情報発信紙としてボランティアで編集し、毎月1回中旬に盛岡タイムスに掲載しています。

紫波町で起きている問題やイベント情報、風景、昔からの紫波町住民や新しい住民のコラムなどの情報が満載です。

この機会に皆さんもぜひご覧ください！



「アラエビス」掲載紙面



### 編集後記

岩手山に初冠雪が観測されました。そろそろストーブが恋しくなる時期ですね。PRセンターではペレットストーブのメンテナンスがおり、いつでも使えるようになりました！今年も活躍してもらいたいですね。

### 会員数

個人会員	92人
個人会員	4団体
賛助会員	4団体